

排卵誘発法：アンタゴニスト法のスケジュール

月経周期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	・・・	29	30		
診察		エコー							エコー			エコー 採血		採卵		胚移植						
排卵誘発剤注射																						
アンタゴニスト (注射または自己注射)																						
オビドレル(自己注射)																						
(プセレリン(点鼻薬))																						
黄体補充 (腔用ゲル、内服)																						
																					妊娠判定	

※スケジュールはあくまで一例です。卵胞の発育具合により、注射の回数や診察日が異なる場合があります。

◆お支払い目安

<p>オンライン予約</p> <p>月経 2 日目頃</p>	<p>超音波検査を行い、胞状卵胞数を確認します。</p> <p>月経 3 日目から排卵誘発剤の注射を開始します。</p> <p>卵胞発育をモニタリングして注射の日数を決めます。</p> <p>月経 1、2 日目(休診日の場合、3 日目)に受診してください。</p> <p>当日がクリニックの都合で予約診療のみの場合、胚培養士にご連絡ください。</p> <p>排卵誘発剤の注射は、自己注射または院内での注射になります。</p> <p>ご希望については医師とご相談ください。</p>	<p>◆自己注射の場合： 約 20,000 円/1 周期</p> <p>◆院内注射の場合： 約 1,500 円/注射 1 回</p> <p>別途 約 2,000 円 超音波検査・再診料がかかります</p>
<p>オンライン予約</p> <p>月経 9 日目頃</p>	<p>超音波検査で卵胞の発育をチェックします。</p> <p>主席卵胞が 12~14 mm より大きくなったところで、排卵を防ぐために 20 時にアンタゴニストの注射を開始します。</p>	約 6,000 円~9,000 円
<p>オンライン予約</p> <p>月経 12 日目頃</p>	<p>超音波検査で卵胞の発育をチェックし、採卵のタイミングを決定します。</p> <p>ホルモン検査・感染症検査の採血をします。</p> <p>トリガー(卵を成熟させる)のため、20 時にオビドレル(自己注射)を行います。(その後、21 時と 22 時にプセレリン(点鼻薬)を両鼻腔に 1 噴霧ずつ行うこともあります。)</p> <p>オビドレルをしてから約 36 時間後に採卵を行います。</p>	約 5,000 円
<p>月経 14 日目頃</p>	採卵を行います。詳しくは裏面をご覧ください。	約 35,000 円~45,000 円
<p>月経 16~19 日目頃</p>	胚移植を行います。詳しくは裏面をご覧ください。	約 30,000 円~40,000 円
<p>月経 20 日目頃</p>	<p>培養結果について、お電話にてご報告させていただきます。</p> <p>採卵後 6 日間の培養が終了しましたら、受精・培養~胚凍結の費用のご請求となります。1~2 週間以内にお支払いください。</p>	約 50,000 円~80,000 円
<p>オンライン予約</p> <p>月経 30 日目頃</p>	妊娠判定を行います。	約 3,000 円

◆お支払い目安は、保険診療の金額になります

採卵日のスケジュール

※時間は目安となります。

8:00頃 来院

- 朝食を取らずに、朝 8:00 に来院してください。
- 当日はご家族に送迎していただくかタクシーなどをご利用ください。
- 当日の朝にご自宅で採精したカップをお持ちください。
院内採精を希望される場合はスタッフにご相談下さい。

9:00頃 採卵手術

- 麻酔をして行うため、強く痛むことはありません。
- 膣から超音波で卵胞を観察しながら細い針で穿刺・吸引し卵子を回収します。
処置は 10 分程で終了し、その後は病室にて安静にします。

11:00~12:00頃 退院診察、 昼食

- 麻酔のさめ具合や出血の状態をみて異常がなければ退院となります。
- 胚移植の日時を決めます。
- 着床を助ける黄体ホルモン補充の薬(ワンクリノン腔用ゲル、デュファストン)をお出しします。
- 感染症予防のため、抗生剤の飲み薬(1回1錠、1日2回)を2日分お出しします。
- 昼食をお出しします。アレルギーのある方は事前にスタッフまでご相談下さい。

退院後に注意してほしいこと

排卵誘発剤の刺激に対して卵巣が過剰に反応し卵巣過剰刺激症候群になり、受診や入院が必要になる場合があります。退院後は、**毎日体重測定と尿量のチェック**をしてください。また、次のような体調の変化に注意してください。

- 体重・・・ 1日で1kg以上増加する
- 尿量・・・ 尿量がいつもより少ない
- 下腹部痛・・・ 下腹部痛が強い、呼吸が苦しい、夜眠れない

胚移植日のスケジュール

※時間は目安となります。

14:00頃 胚移植

- 移植数は、**原則1個**です。
(35歳以上または2回以上の連続反復不成功の場合、2個移植が認められます)
- 胚移植チューブが入りやすいようにするため、来院後は**排尿せず**にお待ちください。
- 麻酔は使用せず、処置は短時間で終了します。移植後、医師より説明があります。
- 胚移植後は約1時間安静時間をとります。
- 着床を助ける黄体ホルモン補充の薬(ワンクリノン腔用ゲル、デュファストン)を妊娠判定日までお出しします。